

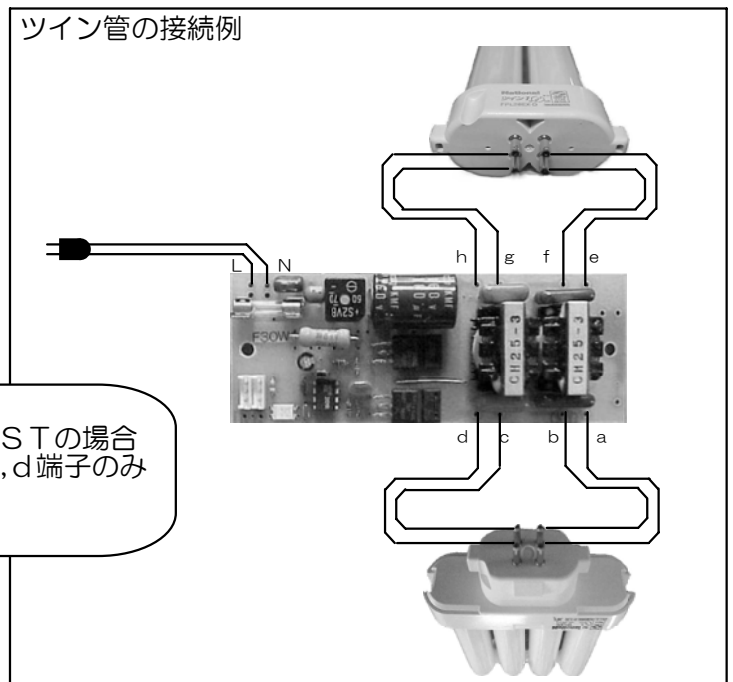
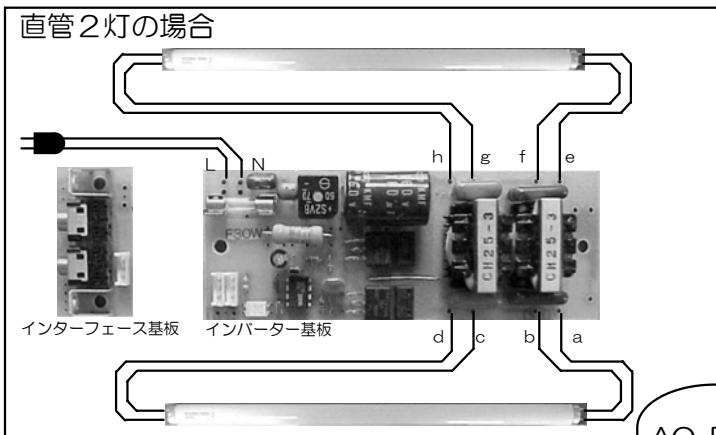
AQ-Fシリーズ調光インバーター基板 説明書

アクアリウム用照明器具に内蔵する場合を想定して説明してあります。尚、器具の改造作業になりますので器具メーカーからの保証が受けられなくなる事を御了承下さい。器具の改造はユーザー様の責任に於いて実施される事をお願い致します。

1. 器具を解体し、内蔵の安定器とグロースターを全て外します。この時線材の半田付けも外して下さい。
2. 基板のVカット部（2ヶ所あります）を割りインバーター本体とインターフェースに分割します。
3. インバーター本体を付属のスペーサーで器具のシャーシに固定します。この時にシャーシに付いているビスの先端や突起などに基板の裏側が接触しショートする事がない場所を選んで下さい。又、インバーターに付いている部品は発熱しますので器具のプラスチックカバーとの隙間が3cm以上ある場所を選んで下さい。一般のプラスチックカバーは不燃材が使用されておりませんのでご注意ください。
4. 調光機能を使う場合にはインターフェース基板を取り付けて下さい。器具の外部からジャックが差せる場所に付属のスペーサーか付属のネジ又はナットで固定します。1つの器具に複数のインバーター基板を内蔵する場合でもインターフェース基板は1枚になります。
5. 器具の蛍光灯ソケットとインバーター基板を下図の例の様に半田付けで接続して下さい。
6. 器具の電源コードとインバーター基板を下図の例の様に半田付けで接続して下さい。電源スイッチが必要な場合には、この電源（100V）のラインに挿入して下さい。蛍光灯の配線に電源スイッチを設けるとインバーターの故障の原因になります。
7. 使用する線材は器具解体時の余り線で構いませんが不足した場合にはホームセンターなどで市販されている電源用の平行線材を1本つつ裂いてご使用願います。
8. インターフェース基板とインバーター本体を付属の3Pケーブルで極性に注意しながら接続します。
9. 配線のチェックをしてから試験点灯を行って下さい。
10. カバーなどを取り付けて解体前の状態に復元して下さい。
11. 複数の器具の調光をしたい場合にはインターフェース基板のミニジャックをディジーチェーン接続して下さい。

使用上の注意

- A. インバーター基板を取り付ける器具内部の温度は器具周囲の気温に対して30度から40度も上昇し、気温が40度の時には内部は70～80度に達します。インバーター回路に使っている電子部品はさらに20度以上上昇する部品がありこれがプラスチックカバーに近づくと大変危険です。プラスチックカバーは難燃性の樹脂でない事が多いので長期間熱が加えられますと炭化し発火、火災の危険がございます。基板の取り付け位置には十分な注意をはらって下さい。
- B. インバーター基板には電源の100Vが直接かかっております。通電中に人体に触れると感電の危険があります。水槽に水没した場合には必ずコンセントを抜いてから拾い上げて下さい。また水に濡れたままで使用を再開するとショートの原因になりますのでよく乾燥させ試験点灯を行ってから設置して下さい。
- C. 半田付けは上手な方が行って下さい。電源の100Vが直接かかっておりますのでヤニ付けや半田ブリッジがあると大変危険です。
- D. 国内専用100Vモデルです。海外では電圧が違いますのでご使用できません。尚50Hz 60Hzの区別はありません。



AQ-F55STの場合
はa,b,c,d端子のみ
有効です。

